

## 富士テクノホールディングス (9243)

増収増益、技術者派遣事業が伸長。主要子会社3社増収も、3Dプリンタ販売子会社の債務超過や利益率改善など課題残る。

TOKYO PRO Market | IT サービス | 業績フォロー

BLOOMBERG 9243 JP | REUTERS 9243.T

- 2024/3通期は、売上高が前期比14.1%増、経常利益が同70%増、当期利益が同23.3%増の増収増益。
- 主要3事業の通期売上高はいずれも対前年比でプラス成長、主要子会社3社の売上高も対前年比でプラス成長し、売上は堅調に推移。採算性改善が課題

### What is the news?

2024/3通期実績は、売上高が前期比14.1%増の30.94億円、営業利益が45.2%増の72百万円、経常利益が同70%増の66百万円、当期利益が同23.3%増の40百万円。営業キャッシュフローは掛金や棚卸資産、未払消費税といった流動債権・債務の調整額純額がプラスに傾いたことから前期の8倍となる195百万円へと増加した。一方、税引き前純利益から非現金支出（収入）項目を足し戻し（除算）した調整後EBITDA（アナリストにより算出）は前年111百万円から当期129百万円で推移し、対前年比成長率は16.7%である。

通期の事業別販売実績は以下の通り。①情報処理請負事業が前期比4.8%増の8.5億円、②技術者派遣請負事業は同18.7%増の21.46億円、③プロダクト販売事業が同7.5%増の97百万円となった。各社の売上が全体の10%以上を構成する主要子会社3社の売上は、(株)富士テクノソリューションズが18.16億円（前年17.34億円）、(株)横芝が481百万円（前年474百万円）、中日本技研(株)が557百万円（前年513百万円）と3社いずれも対前年比で売上を伸ばした。一方で富士テクノソリューションズの子会社であり3Dプリンタ製造販売の中核を担う(株)エフティ・ファインテックプロダクトの債務超過額は前年の151百万円から当期162百万円へ拡大している。

### How do we view this?

2025/3通期会社計画は、売上高が前期比5.3%増の32.60億円、経常利益が同12.7%増の75百万円、純利益が同24%増の50百万円と増収増益を見込む。一方で配当額は未定。

持ち株会社体制移行後の過去3か年では資産成長が負債増を上回るも、損益構造は粗利率20%台、営業利益率が1桁台前半%となり、採算性改善が課題。人件費上昇などの事業環境変化を根拠とした価格改定交渉が必要となるだろう。

### 業績推移

事業年度	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3F
売上高 (百万円)	2,367	2,711	3,094	3,260
経常利益 (百万円)	13	39	66	75
当期純利益 (百万円)	31	32	40	50
EPS (円)	38.56	40.50	50.13	62.30
PER (倍)	12.71	12.35	10.37	8.35
BPS (円)	115.41	140.91	173.90	-
PBR (倍)	4.25	3.55	2.99	-
配当 (円)	15.00	15.00	17.00	-
配当利回り (%)	3.06	3.00	3.27	-

(出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想 (円) - (会社予想)  
 株価 (円) 520 2024/7/29 (基準値)

### 会社概要

1976年にPC関連商品の販売などを目的として設立された有限会社「富士商会」が前身。グループの中核子会社の富士テクノソリューションズは2002年に日本証券業協会よりグリーンシート銘柄としての指定登録。2017年3月に指定を取消。同年9月にTOKYO PRO Marketに上場。

2021年10月単独株式移転により持株会社に移行し、富士テクノホールディングスとなる（富士テクノソリューションズはTOKYO PRO Market上場廃止）。

富士テクノグループは「(株)富士テクノソリューションズ」「(株)横芝」「中日本技研(株)」「(株)エフティ・ファインテックプロダクト」「(株)富士ミライ」「アイティーデザイン(株)」を含む連結子会社6社にて構成される。

自動車部品などの国内製造業を顧客とする。主要事業は、①情報処理請負事業、②技術者派遣事業、3Dプリンタ等のハードウェアやCAD関連のソフトウェア、環境構築運用コンサルティングなどを提供する③プロダクト販売事業である。本社のある神奈川県厚木市を主要拠点とし、東京都・大阪市・愛知県の1都1府2県にて営業活動を行っている。

### 企業データ



主要株主 (2024/6/28)	(%)
1.高井 男	33.74
2.株式会社高井企画	17.89
3.原田 久仁子	12.44
4.高井 澄子	5.79
5.株式会社アド・ソアー	5.27

(出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

#### 三角 友幸

tomoyuki.misumi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707

#### 笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: リサーチ部 三角友幸

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。